



議会 だより

No.65 2022年5月6日発行

おもな内容

令和4年第1回市議会定例会…	P 2 ～P 3
常任委員会審査報告 ……	P 4 ～P 5
一般質問 ……	P 6 ～P12
決議書 ……	P12
常任委員会調査報告 ……	P13
令和4年第1回市議会臨時会 ……	P14
市民の声 ……	P15
読者の声 ……	P16
議会広報広聴委員会風景 ……	P17
市議会クイズ、編集後記 ……	P18



「のびのび健やかに」(田島：西彼町)
撮影：片山 智弘 議員 [西彼町]

本誌に写真を掲載しませんか？

表紙に掲載する写真の公募を行っています。詳しくは西海市ウェブサイトをご覧ください。また、議会事務局までお問合せください。

令和4年第1回市議会定例会

会期: 令和4年2月25日～3月18日(22日間)

定例会の概要

第1回定例会では、議案32件（報告2件、同意1件、諮問1件含む）、発議1件が提出されました。（3ページ参照）

議案のうち各常任委員会に付託された28議案（条例案・補正予算案・その他議案）は各常任委員会において、慎重に審査されました。（4、5ページ参照）

各常任委員会の付託内訳

総務文教常任委員会：15件

産業建設常任委員会：4件

厚生常任委員会：7件

予算決算常任委員会：2件

議員発議により提出された「ロシアによるウクライナ侵略に対し嚴重に抗議するとともに、国際社会の一致した行動を強く求める決議」は原案のとおり、可決されました。（12ページ参照）

閉会中の継続調査は、総務文教常任委員会から「市内にある3件の国指定文化財等（国指定史跡ホゲット石鍋製作遺跡、国指定重要文化財西海橋及び国指定天然記念物七釜鍾乳洞）に係る対象史跡や建造物、景観等の保護に関する現状と課題並びに観光資源としての活用に関する連携その他今後の展望等について」、産業建設常任委員会から「大村湾における力キの

生育不良の現状と今後の対策について」、「農業基盤整備を契機として生産拡大及び人口増加を達成した先進事例について」、厚生常任委員会から「西海市における医療と介護の連携の取組みについて」の申出があり、決定されました。

令和4年度予算案を可決

令和4年度一般会計、特別会計及び企業会計の当初予算額は、下記のとおりです。

主な事業としては、一般会計では、地域脱炭素・再生可能エネルギー推進事業、特産品ブランド力強化対策事業、ふるさと西海応援寄附金事業、大崎小学校施設等整備事業、西海スポーツガーデン体育館改修事業、特別会計では、工業団地整備特別会計で大島地区工業団地整備事業、国民健康保険特別会計では、事業勘定で国民健康保険事業、企業会計では、水道事業会計で水道施設の維持管理費などが計上されました。

《令和4年度 当初予算会計別内訳》

(単位：千円)

会計の別			令和4年度当初予算	令和3年度当初予算	増減額・伸び率	令和4年/令和3年
			①	②	③(①－②)	③/②
一般会計			21,710,291	19,508,248	2,202,043	11.3%
特別会計合計			8,385,470	8,724,780	△339,310	△3.9%
特別会計	国保(事業勘定)特別会計		3,830,418	3,894,994	△64,576	△1.7%
	国保(直診勘定)特別会計		199,617	198,710	907	0.5%
	後期高齢者医療特別会計		407,836	387,976	19,860	5.1%
	交通船特別会計		122,572	120,494	2,078	1.7%
	介護保険(保険事業勘定)特別会計		3,585,890	3,611,248	△25,358	△0.7%
	介護保険(サービス事業勘定)特別会計		18,754	19,131	△377	△2.0%
	工業団地整備事業特別会計		220,383	492,227	△271,844	△55.2%
	A 特別会計合計		30,095,761	28,233,028	1,862,733	6.6%
企業会計	水 道	収益的支出	1,010,738	1,006,385	4,353	0.4%
		資本的支出	1,015,852	975,964	39,888	4.1%
	工業用水道	収益的支出	124,596	129,221	△4,625	△3.6%
		資本的支出	13,203	33,282	△20,079	△60.3%
	下 水 道	収益的支出	1,182,539	1,296,826	△114,287	△8.8%
		資本的支出	1,101,921	1,275,518	△173,597	△13.6%
	B 企業会計合計		4,448,849	4,717,196	△268,347	△5.7%
総 額 (A+B)			34,544,610	32,950,224	1,594,386	0.9%

令和4年第1回市議会定例会で審議した案件及び結果

議案等番号	件 名	付託委員会等	議決の結果
報告第3号	令和3年度西海市一般会計補正予算（第9号）の専決処分の承認について	本会議	承認
報告第4号	令和3年度西海市一般会計補正予算（第10号）の専決処分の承認について	本会議	承認
同意第1号	西海市教育委員会委員の任命同意	本会議	同意
諮問第1号	人権擁護委員の候補者の推薦について	本会議	支障なし
議案第3号	西海市特別職報酬等審議会条例の一部を改正する条例の制定について	総務文教	原案可決
議案第4号	西海市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	総務文教	原案可決
議案第5号	西海市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務文教	原案可決
議案第6号	西海市営駐車場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務文教	原案可決
議案第7号	財産の処分について	総務文教	原案可決
議案第8号	西海市消防団条例の一部を改正する条例の制定について	総務文教	原案可決
議案第9号	西海市過疎地域自立促進基金条例の一部を改正する条例の制定について	総務文教	原案可決
議案第10号	西海市工場立地法に基づく準則を定める条例の制定について	総務文教	原案可決
議案第11号	西海市史跡ホゲット石鍋製作遺跡保存活用計画策定委員会設置条例の制定について	総務文教	原案可決
議案第12号	西海市体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務文教	原案可決
議案第13号	西海市福祉医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	厚生	原案可決
議案第14号	ふるさと西海応援寄附金条例の一部を改正する条例の制定について	産業建設	原案可決
議案第15号	令和3年度西海市一般会計補正予算（第11号）	予算決算	原案可決
議案第16号	令和3年度西海市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	厚生	原案可決
議案第17号	令和3年度西海市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	厚生	原案可決
議案第18号	令和3年度西海市工業団地整備事業特別会計補正予算（第1号）	総務文教	原案可決
議案第19号	令和3年度西海市交通船特別会計補正予算（第2号）	総務文教	原案可決
議案第20号	令和3年度西海市介護保険特別会計補正予算（第3号）	厚生	原案可決
議案第21号	令和4年度西海市一般会計予算	予算決算	原案可決
議案第22号	令和4年度西海市国民健康保険特別会計予算	厚生	原案可決
議案第23号	令和4年度西海市後期高齢者医療特別会計予算	厚生	原案可決
議案第24号	令和4年度西海市工業団地整備事業特別会計予算	総務文教	原案可決
議案第25号	令和4年度西海市交通船特別会計予算	総務文教	原案可決
議案第26号	令和4年度西海市介護保険特別会計予算	厚生	原案可決
議案第27号	令和4年度西海市水道事業会計予算	産業建設	原案可決
議案第28号	令和4年度西海市工業用水道事業会計予算	産業建設	原案可決
議案第29号	令和4年度西海市下水道事業会計予算	産業建設	原案可決
議案第30号	西海市交通船の事故に係る損害賠償の額を定め、和解することについて	総務文教	原案可決
発議第1号	ロシアによるウクライナ侵略に対し厳重に抗議するとともに、国際社会の一致した行動を強く求める決議	本会議	原案可決

総務文教常任委員会

審査件数

条例案 9件
補正予算案2件
当初予算案2件
その他の議案2件

主な審査内容

議案第6号 西海市営駐車場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

原案可決

この議案は、大島町内浦地区に新たに整備した駐車場を市営駐車場に加え、別条例にて管理していた肥前大島港駐車場を本条例に統合し、使用料を近隣の市営駐車場と同額の月額3300円に統一するため、所要の改正を行うものです。

議案第7号 財産の処分について

原案可決

この議案は、公用車のリースの用に供するため、公用車を民間事業者へ有償譲渡することについて、議会の議決を求めるものです。

なお、この公用車のリース化は、西海市が脱炭素社会を実現するため、台数削減や電気自動車への切り替えを行うもので、車両管理は地域商社が行い、優先的に地元整備工場を活用することで地場産業の育成を図るものです。

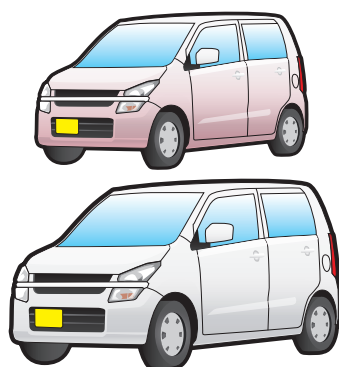
質疑

リース化によるメリットは、

CO₂削減が見込めるほか、将来的には、電気自動車の普及促進につながるため、市民や市外からの観光客にレンタカーとして電気自動車を利用してもらおうことを検討している。

【公用車のリース化とは】

市所有の車(公用車)をリース会社所有の車(リース車)に変えるもの。これにより市での車検やオイル交換等の車両整備に係る事務手続きが不要となり、職員による車両管理業務の削減が図られます。



議案第8号 西海市消防団条例の一部を改正する条例の制定について

原案可決

この議案は、消防庁から消防団員の処遇の改善に向け、団員報酬等の基準が示されたことにより、消防団員の報酬及び災害出勤支給額の増額等、所要の改正を行うものです。

産業建設常任委員会

審査件数

条例案 1件
当初予算案 3件

主な審査内容

議案第14号 ふるさと西海応援寄附金条例の一部を改正する条例の制定について

原案可決

この議案は、市の施策に合わせた活用事業の充実を図るため、「脱炭素社会の実現に向けたまちづくりを推進する事業」をふるさと西海応援寄附金の使途に追加するものです。

質疑

ふるさと応援寄附金の使途に、「脱炭素社会の実現に向けたまちづくりを推進する事業」を追加することについて、市役所内部でどのような過程を経て決定したのか伺う。

答弁 条例の所管は商工観光物産課だが、集まった寄附金をどの事業に充てるかは財務課が担当している。市長、副市長、職員が市全体の予算を編成する中で協議をしながら、どの事業に充てていくかを決定する。

議案第27号 令和4年度西海市水道事業会計予算

原案可決

「令和4年度西海市水道会計予算」で水道施設の維持管理を目的とした収益的収支では、収益的収入総額を8億8835万1000円、収益的

支出総額を10億1073万8000円とし、水道施設の建設改良を目的とした資本的収支では、資本的収入総額を6億6911万円、資本的支出総額を10億1585万2000円とするものです。

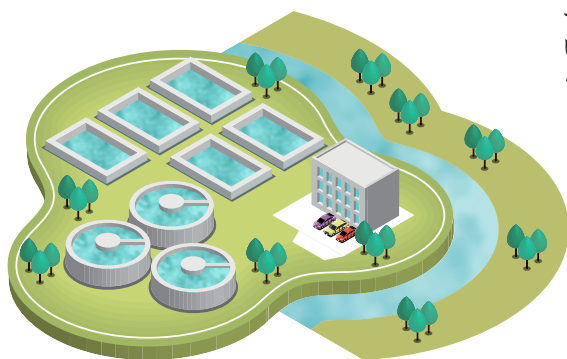
質疑

水道施設設備事業及び送配水管布設の進捗状況と来年度の予定について伺う。

答弁

令和3年度は、大瀬戸町緑ヶ丘地区の配水池更新工事や非常用発電機との切替回路整備工事を実施し、また、西海町、大島町、大瀬戸町で配水管布設替工事を行った。

令和4年度は、七釜配水池の更新工事と、西海町の東部及び中部地区浄水場の統合に係る設計委託を予定している。



厚生常任委員会

審査件数

条例案	1件
補正予算案	3件
当初予算案	3件

主な審査内容

議案第13号 西海市福祉医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について

原案可決

この議案は、福祉医療費の支給について、現物給付の対象に小学生から高校生相当年齢までの子どもを加えるよう、所要の改正を行うもので、これにより、令和4年4月1日から西海市・時津町・長与町内の医療機関を受診した際の医療費が現物給付の対象となるものです。

質疑 長崎市や佐世保市の医療機関を受診している市民も多いが、両市が対象にならないのはなぜか。

答弁 長崎市は現物給付を行っているが、医療機関との協議に時間が必要であり、佐世保市は現物給付を行っていないことから、まずは西彼杵医師会管内の医療機関から現物給付をスタートするが、今後、長崎市、佐世保市両市の関係機関と協議し、段階的に取り組む。

【現物給付とは】

対象の病院等に健康保険証と一緒に受給者証を提示することにより一定割合の自己負担で診療や治療を受けたり薬をもらうことができるもの。



議案第16号 令和3年度西海市民健康保険特別会計補正予算(第3号)

原案可決

この議案は、事業勘定において、既存の予算から953万円を減額するもので、主な内容は、保険基盤安定繰入金、財政安定化支援事業繰入金等の決定によるもので、財源は財政調整基金積立金の減額にて調整されます。

直営診療施設勘定では、既存の予算から1866万6000円を減額するもので、主な内容は、江島診療所の医師の令和4年2月末までの不在に伴う人件費の減額で、財源については一般会計繰入金により調整されます。

予算決算常任委員会

審査件数

補正予算案1件
当初予算案1件

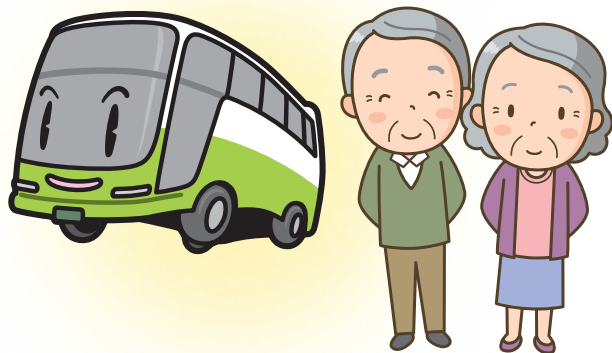
主な審査内容

議案第15号 令和3年度西海市一般会計補正予算(第11号)

原案可決

質疑 路線バス補助金2599万3000円の内容を伺う。

答弁 市内のバス路線のうち、9路線の運行経費について、コロナ禍や人口減少等の影響による赤字分を補助するものである。



議案第21号 令和4年度一般会計予算

原案可決

【歳入】

質疑 新型コロナウイルス感染症対策地方税収補填特別交付金について内容を伺う。

答弁 本交付金は、中小企業者等の令和3年度の固定資産税に限り減額をする措置制度である。令和2年2月から10月までの間で、各事業者において3か月間の収入が前年度と比較して、一定以上減少する場合、その固定資産税にかかる定額を2分の1から全額減額するものである。

【歳出】

質疑 西海ふるさと便事業助成金4950万円の内容を伺う。

答弁 この事業は、市内の消費拡大と中小事業者や生産者を支援するため、送料を負担するもので、令和2年度は3万3532件、令和3年度は3万5000件超えの実績があり、市民からも大変好評を頂いていることから、令和4年度も継続するものである。

質疑 教育費のWi-Fi機能が搭載されている電子黒板の購入費用について、地元業者を活用する考えはあるのか伺う。

答弁 指名競争入札のため、結果は分からないが、地場産業の育成も兼ねて分割発注も視野に、事業の実施を検討していく。

一般質問

今定例会で一般質問した議員は11人でした。

一般質問の動画にリンクしたQRコードを掲載しております。
スマートフォンなどで読み取ると当日の動画映像がご覧になります。



一般質問とは？



市議会議員が市に対して、事務の執行状況や今後の政策など、みなさんの生活にも関わる市の行財政全般について、疑問点を質したり、所信の表明を求めたりするものです。

西海市では一人60分（答弁、再質問を含む）の持ち時間制となっています。



一般質問は、「通告制」となっており、議長が定めた期間内に議長に質問の要旨などを文書で通告します。

質問範囲が多岐にわたることから、質問する議員も受ける執行機関も十分な準備期間を設け、充実した政策論議を行うためです。

順番・氏名	質問事項
1. 荒本 吉登 議員	・農業振興策について ・有害鳥獣被害の現状と対策について ・緊急時における情報共有の現状について
2. 西川 勝則 議員	・デジタル化に伴うマイナンバーカードの普及・活用促進について ・西海市におけるスクールソーシャルワーカーの活動状況について
3. 渡辺 督郎 議員	・重層的支援体制整備事業について ・大島大橋の風速表示について ・家庭用防災セット購入補助について ・水道管の漏水調査について
4. 平井 満洋 議員	・公用車のリース化について ・旧長崎オランダ村について ・長崎オランダ村について
5. 平野 直幸 議員	・大島地区工業団地の供用に伴い見込まれる効果と定住化政策について ・在宅療養診療所への支援策構築について
6. 朝長 隆洋 議員	・市内への特別支援学校（小学部・中学部）設置に向けた活動状況について ・居住ニーズの高い場所への集中的な住環境の整備について ・カキ養殖の漁獲量激減の原因究明について ・市職員の中途退職者増加について

順番・氏名	質問事項
7. 打田 清 議員	・職員の時間外勤務と健康管理の状況について ・消防団詰所・格納庫の建設について ・上水道について
8. 田川 正毅 議員	・西海市の林業政策について ・西海市の教育基本政策について
9. 小嶋 俊樹 議員	・新庁舎建設について ・教育について
10. 戸浦 善彦 議員	・環境変化に強い持続可能な水産業について ・道路修繕に係る優先順位の判断基準について ・デュアルスクールについて
11. 洲瀬 栄子 議員	・特別支援学校（小・中学部）の設置について ・特別支援学校への通学支援について ・離島における新型コロナウイルス感染対策と救急搬送体制について ・犯罪被害者等支援条例について





あら き よし と
荒木 吉登
議員



農業振興策について

問 近年では、農業と他の仕事を組み合わせていく半農半Xなどの働き方が注目されているが、認定農業者の育成と確保への取組みと並行し、多様な農業への関わりに対する支援対策を構築してはどうか、市長の考えを伺う。

市長 人口減少が進む本市において、半農半Xが実践できるフィールドとしてPRすることで、Uターン、イターンなどの移住政策としても大きな強みになるものと考えられる。今後、関係部署と連携し、横断的に取り組む。

有害鳥獣対策について



問 通学路において、登下校時にイノシシが出没することがあり、保

護者や付近住民が不安を感じている。人的被害が起こらないよう十分な対策を行うべきと考えるが、市長の考えを伺う。

市長 通学路沿いに隣接する山林や耕作放棄地がある箇所に部分的にワイヤーメッシュ柵を設置するなどの対策も効果があると考えられることから、イノシシ撃退事業も推進していく。

また、イノシシに遭遇した際の対処方法などの周知を併せて行うなど、関係部署と連携し、人的被害の防止に努めていく。

ランデブーポイントについて

問 市内にはドクターヘリのランデブーポイント（離着陸場）が33箇所あるが、当該ランデブーポイント以外の場所で、ドクターヘリの離着陸に支障がないと判断され、かつ緊急搬送する上で最適と判断された場所でのドクターヘリの離着陸は可能なのか伺う。

市長 公的機関が臨時的に設置した場外離着陸場など、あらかじめ安全が確認されている場所に制限されている。

本市としても、平常時から搬送時間の短縮につながる候補地がないか、関係機関と情報共有や検討を行い、効率的な搬送体制の整備に取り組んでいく。



にしかわ かつのり
西川 勝則
議員



デジタル化に伴うマイナンバーカードの普及及び活用促進について

問 普及に向けての課題を伺う。

市長 窓口の休日及び時間外開庁に加え、企業及び行政区への出張申請サポートを行い、令和4年1月末の交付率は41・96%である。課題として、出張申請受付でセキュリティ面での不信感があること、マイナ



【うら面】



【おもて面】

総務省のホームページより

本市におけるスクールソーシャルワーカーの活動状況について

配置状況を伺う。

問 配置状況を伺う。

教育長 県教育委員会の事業による雇用が平成21年度から1名、平成30年度からは市で1名を配置しており、現在2名の配置となっている。

問 学校でどのような役割を担い、職務遂行しているのか伺う。

教育長 教職員が家庭内のことに立ち入って指導することは難しい。そのため、家庭が抱える諸問題について、その解決の道筋を示し、福祉的な働きかけを行う専門職としてのスクールソーシャルワーカーの存在は、家庭及び学校にとって大変大きい。例えば、学校では、児童・生徒から相談を受けた担任や養護教諭等が相談に当たっているが、支援が必要と判断した場合には、スクールソーシャルワーカーの派遣要請を行う。その後、情報の共通理解を図り、面談等を通して専門的な視点から、学校生活や家庭環境、発達、心理、疾病状況等の情報収集を行い、その結果を基に対応を決定し、問題に応じて相談支援事業や障害福祉サービス等の社会資源を紹介している。

「スクールソーシャルワーカーとは」いじめや不登校、虐待、貧困など、学校や日常生活における問題に直面する子どもを支援する社会福祉の専門家。



わたなべ たくろう
渡辺 督郎
議員



重層的支援体制整備事業について

問 社会福祉分野においては、介護、障がい、子育て、生活困窮等属性ごとに、相談等支援事業が実施されている。地域住民の複雑化、複合化した支援ニーズの中で、社会福祉法改正により、包括的な支援体制を構築するため、市町村において属性を問わない相談支援、参加支援及び地域づくりに向けた支援の3つの支援を一体的に実施する重層的支援体制整備事業が創設され、令和3年4月1日から施行された。当該事業は、相談や地域づくりに向けた支援に関連する事業に係る補助等について、一体的に施行できるよう交付金が交付される。この重層的支援整備事業に取り組むのはどうか伺う。

市長 包括的な支援体制の構築に向けて、国の補助事業となっており移行準備事業に取り組み。令和4年度の事業内容は、包括的支援体制の設立準備と重層的支援体制整備事業実施計画の策定を予定している。後

年度以降、段階的に参加支援事業、地域づくり事業にも取り組む。

水道管の漏水調査について

問 水道事業では、老朽化による水道管の維持管理と更新は大きな課題となっている。愛知県豊田市では、衛星が放射したマイクロ波に対する反射特性を利用して、衛星画像をAIで解析することで、調査範囲を絞った効率的な漏水調査を実施し、漏水調査に係る期間及び費用を大幅に削減している。この調査手法を導入し、効率化を図ってはどうか伺う。

市長 この衛星画像を用いてのAIによる解析調査は、大変有効であると考えているが、今後の動向に注視するとともに、他の調査方法の情報収集や県内の市町と意見交換に努め、本市に合う漏水調査の方法を検討していく。



衛星画像解析による漏水検知の仕組み



ひらい みつひろ
平井 満洋
議員



公用車のリース化について

問 公用車のリースバックを導入するに至った経緯について伺う。

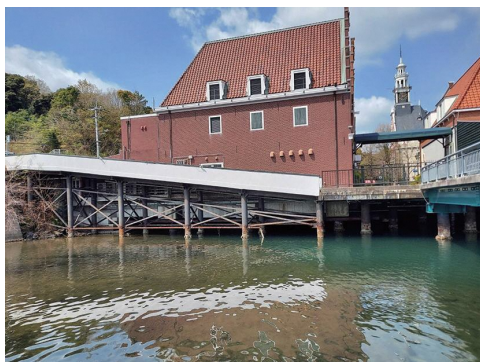
市長 昨年度から導入について検討していたが、市政運営の7つの柱の第1番目に掲げる脱炭素社会に向かうまちづくりを推進するに当たり、リース化による台数削減や電気自動車への転換により、温室効果ガス排出量の大きな削減効果が見込めることや、車両管理をデジタル化し、併せて職員の車両管理に係る業務削減、整備不良による事故を未然に防ぐことなどの効果が見込めるため、令和4年度から一部の車両について売却し、リース化することとした。

長崎オランダ村について

問 長崎オランダ村施設改修事業として、国道からの進入路下部（Jブロック）の緊急改修工事が計上されているが、この予算計上より前に、長崎オランダ村との関係を整理することが先決であると考えるが。

市長 鋼管杭点検調査結果において、Jブロックには飛沫帯の集中腐食で破断寸前の鋼管杭が多数存在しており、このまま放置した場合、自重に耐え切れず圧縮変形を起こすことも考えられるため早急な対策が必要である。今後さらに腐食が進行することにより多くの開孔の発生や、それに伴う施設の倒壊が懸念されるため、早期の防食対策によって安全な施設の供用を推奨しますとの見解が示されている。

このような中、市としては、人命にも影響を及ぼしかねない危険な状態にある施設の安全確保が最優先であるとの判断の下、Jブロックが長崎オランダ村施設の唯一の車両進入路であることも踏まえ、長崎オランダ村株式会社との話し合いのいかんにかかわらず、Jブロックの鋼管杭補修工事が必要であると判断した。



改修工事予定の長崎オランダ村のJブロック部分



ひらの なおゆき
平野 直幸
議員



大島工業団地の完成を見込み 従業者の定住化政策を図れ

問 本市で念願の「大島地区工業団地」の完成が目前となったが、造成は計画どおり進行しているのか。また、雇用者及び市内定住者数の見込みは。

市長 造成面積は14・5ヘクタールで、令和4年度完成見込みである。新規雇用者は、当初計画どおり400人程度を見込んでいる。現在、市内造船所の従業員約66%が市内に在住していることから、人口減少に歯止めをかけるため、できるだけ多くの方が市内に居住できるように努力する。



市内定住見込者の住宅確保の計画は。

市長 住宅地の候補は、大島町東部と居住ニーズの多い西彼町北部までの動線上を考える必要がある。

問 企業の事業拡大による雇用と定住化は優先課題である。これに相応した西海市の「宅地供給プラン」の策定が必要ではないか。

市長 指摘のとおり、住宅確保などの定住化政策は重要課題と認識している。庁内に「住宅政策プロジェクトチーム」を設置し、住宅政策方針を整理してきた。工業団地の分譲先企業の雇用計画等を確認し、住宅や宅地の供給量の見通しを立て、具体的な施策に取り組みたい。

在宅医療の充実・拡大のための 診療所への支援策構築を

問 西海市が策定した「西海市医療プラン」の内容は、市民にとって、住み慣れた地域で暮らし続けることへの課題にマッチしている。どのようにして計画的に実現・定着させるかが肝要である。在宅医療の充実・拡大に向けて支援ができないか伺う。

市長 在宅医療の充実、喫緊の課題である。令和4年度の新規事業として、県内で初めてポータブル医療機器購入、新規の訪問看護人件費、訪問用車両購入等を対象とする補助制度を計画している。



ともなが たかひろ
朝長 隆洋
議員



市内の特別支援学校（小学部・ 中学部）設置に向けた活動状況は

問 市はこれまで、県に対し設置の要望等を実施してきたが、今後の流れを伺う。

学校教育課長 県教育委員会の第一次実施計画の中に、西海市について、具体的に設置を検討すると明記されていることから、実現に向けた協議を進めていきたい。

居住ニーズの高い場所への 集中的な住環境の整備を急げ

問 人口減少が進む中、定住促進に向けた施策を集中的に講じるべきと思うが、現在の取り組み状況を伺う。

市長 令和3年6月に住宅政策プロジェクトチームを立ち上げ、施策展開の方向性を整理した。現況や民間事業者へのヒアリングの結果から、施策の主要なターゲットとしては、商業施設、保育施設、学校、インターチェンジなどが集積し、生活利便性の高い西彼町北部や、多数の従業員を抱える大島造船所等の周辺部などを候補

エリアとして施策を展開する。

特に西彼町北部地区については、積極的に投資を行う意向を持つ民間事業者もあることを確認しており、市の遊休財産等の情報提供や民間賃貸住宅建設費補助による支援など、民間投資の促進につながる施策を第一に進める。

力キ養殖の漁獲量激減の 原因究明を

問 今年の大村湾における力キ養殖は、生育不良等により過去に例を見ないほど漁獲量が激減しており、漁業者は危機的な状況に陥っている。今後、国や県と連携して原因を究明し、早急に対策を講じるべきではないか。

市長 生育不良の原因については、県に協力を求め、各種調査を行っている。漁業者、漁協、研究機関と連携しながら、漁場モニタリングの体制づくりへの支援のほか、養殖方法の改良や新しい技術の導入の検討など、産地強化を図り、可能な限り漁協の販売促進の取組みを支援し、必要な対策を検討する。





うち だ きよし
打田 清 議員



職員の時間外勤務と 健康管理の状況について

問 令和2年度の主な時間外勤務の発生要因と、時間外勤務を抑制する対策について伺う。

市長 7月の豪雨や9月の台風災害等における災害警戒及び復旧等業務、新型コロナウイルス感染症ワクチン接種等の対策業務等の対応が約1万3000時間、確定申告や決算等、定期的に多忙となる業務、介護認定審査会等の会議や緊急・早急に対応すべき業務等で約1万7000時間となっている。時間外勤務の抑制については、課長職を対象とした勤怠管理説明会において周知徹底し、年間を通じて適正な業務配分と管理について申し伝えている。また、平成30年度に職員の時差勤務に関する規定を制定し、一定の条件と範囲において時差勤務を行うことで、時間外勤務の抑制を図っている。

問 健康診断の実施状況について伺う。

市長 毎年、年3回の機会を設け

職場健康診断を実施している。令和2年度の受診率は、95.6%となっている。

消防団詰所等の建設について

問 鉄筋コンクリート造り(RC工法)のメリットとデメリットを伺う。

市長 メリットは耐火性・耐震性・耐久性に優れていることである。デメリットは建築費用が高く、土地の地盤によつては地盤補強工事が必要となること、また、次の建替えの際に解体費用が高くなるところである。

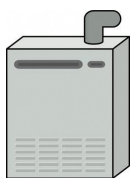
問 地元産のヒノキ等を使った木造工法による地元業者育成ができないか伺う。

市長 近年の大型で強力な台風等を想定すると、鉄筋コンクリート造りが適していると考えている。

上水道について

問 水道水の含有物により家庭用温水器等が故障すると聞き及んでいるが、何らかの対応策が検討できないか伺う。

市長 水質の硬度が高めの数値を示す地区で故障事案があると聞き及んでいる。水質調査を実施して範囲を確認するとともに、他の水源とブレンドするなどして硬度を下げる方法がないか検討したい。



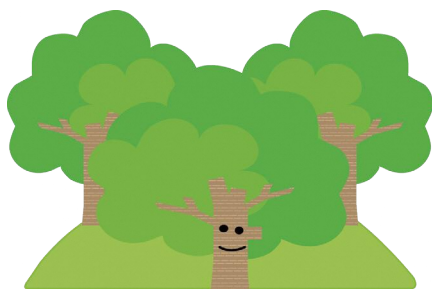
西海市の森を守ろう！

問 西海市の森林・林業成長産業化戦略プランの進捗状況を伺う。

市長 ドローンを使い森林の境界線確認を行い未整備森林の間伐を行う。また、未利用材を活用するため、に農業ハウスへの加温機の普及を図りたいと考えている。燃料費が重油に比べ6割以上削減され、二酸化炭素排出量もハウス1棟当たり、3か月で約8トン削減されると試算している。



た がわ まさき
田川 正毅 議員



問 市内の一部森林において、民間事業者による大規模伐採が行われて

いるが、貴重な種々資源の保護対策を図るべきと考えるが、市長の考えを伺う。

市長 県や森林組合と定期的な情報交換を行い、森林の役割の重要性や伐採に関する注意喚起の広報の実施や西海市独自の伐採ガイドラインの作成、再造林に係る経費支援を検討する。また、森林所有者が将来、夢を持てるような儲かる緑の産業を目指す。

伝統文化・歴史の体験学習を

問 ホゲツト(石鍋)遺跡の歴史や捕鯨の歴史を学ぶために、石鍋製作や捕鯨の際に使われた狼煙をあげる活動、ひいては西海市再生の狼煙をあげる考えはないか伺う。

教育長 小中学校において古くから伝わるお祭りや伝統行事、ホゲツト石鍋製作遺跡など西海市の歴史を学ぶ授業を行っている。また、各種無形民俗文化財や伝統文化の保存、継承のためデジタル映像資料の作成を行い意識向上を図っている。さらに、石鍋製作や狼煙をあげる活動については、課題はあるが必要と考えている。

市長 一定の計画期間が必要だと思うが、何とか計画したい。



狼煙



こじま としき
小嶋 俊樹
議員



新庁舎建設について

問 DXの推進やSDGsが叫ばれてる中、これらの時代にふさわしい新庁舎建設の時期はいつ到来すると考えているのか伺う。

市長 今までの庁舎の在り方の既成概念が根本的に変化していくことを念頭に置き、建設機運の状況等を見極めた上で、時期について検討する。なお、整備には多額の一般財源が必要となるため、今後、庁舎整備基金の創設を検討する。

問 老朽化した各施設や災害に脆弱な状況をいつまで放置するのか伺う。

市長 庁舎建設等に関する調査特別委員会調査報告書の中で指摘された問題は認識している。現在、防災拠点施設の整備を検討するために必要な防災まちづくり基本構想策定事業に着手しており、被災した場合でも災害対応が可能な施設の在り方を検討している。

問 本市への民間投資を喚起するまちづくり、例えば高い利便性を有

する地域が出現することで、市外の若い世代や事業者の選択肢となり得るまちづくりは、新庁舎建設を基点とするほかにはないのではないかと、思うが、考えを伺う。

市長 まちづくりを支える拠点となる庁舎は、私も同様の考え方である。一方、建設には市民の意向が重要である。多くの課題があることを認識した上で検討する。

教育について



問 本市における学ぶための実践教育はどのように行われ、その成果はどう表れているのか伺う。

教育長 地域の産業や伝統行事にかわり、主体的に実感し、地域の抱える課題に目を向け、どのように生きていくべきなのか考える学習に取り組んでいる。

問 西海学を始め郷土の歴史を学ぶフィールド学習の成果を伺う。

教育長 学習の取組みの成果は、一過性のものではなく、数年に渡って続くものであるため、ふるさとを愛する心情を育むとともに、学びの意欲を高めている。



とら よしひこ
戸浦 善彦
議員



環境変化に強い持続可能な水産業について

問 環境変化に強い持続可能な水産業を目指す上で、近年、漁獲量が減少傾向にある。その中で、大村湾の環境改善は急務であると考え。極めて閉鎖性が高い大村湾は水質が悪化しやすく、また、世界的な異常気象に伴う海水温の上昇や降水量の増加に伴う塩分濃度低下などもあり、漁獲量は低迷している状況である。

市長 長崎県は、第4期大村湾環境保全・活性化行動計画の中で、自律的な再生能力があり、持続的な活用ができる里海という2つの方向性に沿った事業を展開し、宝の海大村湾の実現に向け行動するとしているが、当該計画を踏まえ、大村湾の流域自治体の一つのみならず、大村湾の環境保全にどのように取り組んでいく考えか伺う。

ら、スマート技術を駆使した海域データの採取など、漁場モニタリング体制の構築を目指していきたい。

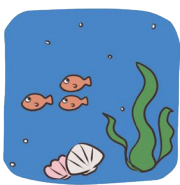
今後とも、大村湾の環境保全については、下水道整備、海岸一斉清掃、海底耕うん事業などの取組みを県や流域自治体とともに総合的に推し進めながら、宝の海を守り続けるとともに、関係者皆様と手を携えて、持続可能な水産業の確立に努める。

すぐその未来へ
港湾のカーボンニュートラル

国土交通省は、港湾のカーボンニュートラルを推進するため、2023年度から「海の森ブルーカーボン」を推進する。これは、港湾のカーボンニュートラルを推進するための取り組みであり、海の森ブルーカーボンの活用により、CO₂の削減を図る。海の森ブルーカーボンの活用により、CO₂の削減を図る。海の森ブルーカーボンの活用により、CO₂の削減を図る。

海の森ブルーカーボン
CO₂の新たな吸収源
BLUE CARBON

国土交通省港湾局





あらい 栄子
市議員



特別支援学校への 通学支援について

問 現在、本市には特別支援学校（小・中学部）が市内にないため、市内の対象児童や生徒は、川棚特別支援学校など市外に通学しており、その通学支援が必要と考える。雲仙市では、地域生活支援給付事業として島原特別支援学校への通学支援バスを運行しており、本市でも通学支援の拡充ができないか。

市長 本市では、県の制度でカバーできない分を国の制度を活用した支援で補っている。付添者が疾病等の理由により一時的に送迎ができない場合で、通学には何かの手段がなく、単独での通学が困難な場合、あるいは一人で通学するための訓練として一時的に利用する場合に、ヘルパーが自宅から学校まで付添う制度である。今後とも県と連携を取り通学環境の向上に努めたい。

問 今後、市内に特別支援学校（小・中学部）が設置されても、利用者の数の規模から1箇所にとどまるもの

と想定され、本市の広大な市域を考えると、同様に内容を拡充した上で通学支援を行う必要があると思うが、市長の考えを伺う。

市長 各町から通学者がいる場合を想定し、どのような交通手段への支援が通学者にとって最良なのかを研究していきたい。



離島で新型コロナウイルス 感染者が発生した場合の 救急搬送体制について

問 離島で感染者が発生した場合の対応について、心配の声が寄せられている。そこで、市内の離島で感染者が発生した場合の救急搬送体制について伺う。

市長 西彼保健所からの要請を受けてからの対応になるが、江島地区・平島地区では、感染者を市の公用車で港まで搬送し、多目的船「はやて」で崎戸港または瀬戸港まで搬送し、港からは保健所の公用車にて指定医療機関や宿泊療養所へ搬送する。松島地区は、保健所の公用車が直接松島まで渡り、搬送することになっている。

ロシアによるウクライナ侵略 に対し厳重に抗議するとともに、 国際社会の一致した行動 を強く求める決議

本市議会は、今般のロシアによるウクライナへの侵略行為を断じて許さない。ここに最も強い言葉と意思をもって厳重に抗議する。

ロシアの行為は、先の大戦を始めたところまで人類が重ねて来た重大な過ちとこれに伴う筆舌に尽くし難い悲哀犠牲との上によりやく築き上げられた国際秩序、すなわち国際法や国連憲章に基づく秩序を破壊する蛮行である。

それは、平和と安全な暮らしの維持を第一の旨とする人類の普遍的価値を破壊する行為であり、ウクライナや欧州など当事者と呼ぶべき国や地域に限らず、世界中の国々が、そしてロシアの善良な市民を含む全ての人類が、決して許してはならない行為である。

また、プーチン大統領は、ウクライナへの軍事侵攻に際して核兵器の使用を示唆する演説を行ったほか、原子力発電所

に対する攻撃を敢行するなど、常軌を逸した犯罪的行為を続けている。私達が、ロシア軍に対し、まずは即時かつ無条件での撤退を強く求めることは当然のこととして、何よりもロシアの度重なる蛮行を踏まえた国際社会が、今回の侵略行為を一主権国家に対する武力行使と捉えることなく、人類の存亡をかけた危機であるとの認識のもと、ロシアへの最大限の圧力と厳しい制裁をもってウクライナへの侵略をやめさせ、戦火収束ののちは、速やかに同国の復興を助けるための行動に一致して取り組まなければならない。

日本国政府におかれては、ウクライナやロシアに在留する邦人の安全確保に全力を尽くした上で、国際社会と緊密に連携し、ロシアへの厳しい対応とウクライナへの寛大な支援について、これを迅速かつ的確に進めるよう強く求める。以上、決議する。

令和4年3月10日

長崎県西海市議会



産業建設常任委員会調査報告



調査事件

(1) 全面通行止めとなっている県道扇山公園線及び大瀬戸町下山地区から奥浦地区の区間で通行止めとなっている森林基幹道西彼杵半島線の復旧に向けた市の取組みについて

(2) 県道扇山公園線の通行止めに伴う迂回路となっている市道奥浦幸物線及び新たに迂回路として整備される予定の市道白樫奥浦線の現況について

調査日

令和3年12月23日(木)

経過

令和3年8月の大雨による被災で全面通行止めとなっている森林基幹道西彼杵半島線、県道扇山公園線の被災現場及び当該県道の迂回路となっている市道奥浦幸物線、市道白樫奥浦線の整備状況を視察し、現況を確認した。

調査結果

森林基幹道西彼杵半島線は、アスファルト舗装路面及び法面の大規模な崩壊、コンクリート擁壁の倒壊、山側の亀裂の発生など8箇所が被災していた。5号箇所では復旧のため、国補助などを含めた工事費は約7000万円、工期は令和4年8月中旬までの6か月間を見込んでいる。

県道扇山公園線は、地すべりが滑動して発生しており、令和4年

8月中旬までに片側通行が可能となるよう応急対策工事に着手し、完全復旧は令和6年度末を見込んでいる。

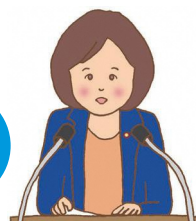
市道奥浦幸物線は、県道扇山公園線の全面通行止めに伴う迂回路として、県による側溝へのグレーディング設置、離合箇所の整備、路肩へのラバーポール設置、法面整形及び一部拡幅などの措置が取られ、以前より格段に通行しやすくなっていた。

市道白樫奥浦線は、コンクリート舗装及び碎石舗装が施されており、車両での通行も問題はなく、県道扇山公園線の迂回路としての役割を十分に果たせるものと確認した。



森林基幹道西彼杵半島線被災箇所（5号箇所）

市議会からのお知らせ



西海市議会に関する各種情報を公開しています。

● 議会中継をインターネットにより動画配信しています。

西海市議会ではインターネットによる本会議の動画配信（ライブ及び録画）を行っています。市のホームページから、または、<https://saikai-city.stream.jfit.co.jp/>へアクセスしていただくと、一般質問などの映像をご覧いただけます。ライブ配信は議会開催中に、録画配信は会議終了後2～3週間程度でご覧いただけます。



● 議会会議録をインターネットで公表しています。

西海市議会ではインターネットで本会議の会議録を公表しています。市のホームページから、または、<http://ssp.kaigiroku.net/tenant/saikai/SpTop.html>へアクセスしていただくと、平成17年以降に開催された定例市議会・臨時市議会の会議録を、キーワード、発言者、会議日程などにより検索して、閲覧することができます。



● 西海市議会の本会議を傍聴できます。

西海市議会の本会議は公開されており、どなたでも自由に傍聴できます。

- 1：場所／本会議場（西海市役所本庁舎3階）
- 2：人数／60人まで（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、傍聴人を制限する場合があります。）
- 3：受付場所／本会議場前傍聴受付
 - ・受付の際、所定の用紙に住所、氏名等を記載していただきます。
 - ・会議開始前から受付を開始し、会議中も随時受け付けます。

令和4年 第1回市議会臨時会

■会期 令和4年1月17日（1日間）

臨時会の概要

第1回臨時会は、1月17日の1日間で開会されました。

この臨時会では、議案4件（報告2件を含む）が提出され、報告2件については、下記のとおり結果となりました。

議案第1号は、西海市の法定外公共物である里道の敷地内に無断で工作物を設置し、同敷地内の一部を不法に占有する者に対し、工作物の収去等を請求する訴えを提起するもので、当該議案については産業建設常任委員会に付託され、委員審査を経て、本会議において、同委員長から、「市の訴えの理由は正当なものであり、当該訴えの提起はやむを得ない」との報告があり、原案可決となりました。

議案第2号は、「長崎オランダ村施設改修事業」や「ふるさと西海応援寄附金事業」などを内容とする一般会計補正予算（第8号）で、当該議案については予算決算常任委員会に付託され、委員会審査を経て、本会議において、原案可決されました。

令和4年第1回臨時会で審議した案件及び結果

議案番号	件名	付託委員会等	議決の結果
報告第1号	環境政策課公用車の事故に係る損害賠償の額を定め、和解することについての専決処分について	本会議	報告済み
報告第2号	令和3年度西海市一般会計補正予算（第7号）の専決処分の承認について	本会議	承認
議案第1号	工作物収去等請求事件に関する訴えの提起について	産業建設	原案可決
議案第2号	令和3年度西海市一般会計補正予算（第8号）	予算決算	原案可決





西海市立西彼中学校

三年 山口 凜佳

私達の住む西海市には、自慢できるものがたくさんあります。例えば、西海市と佐世保市を結ぶ西海橋等の建造物や西海大鍋祭りなどのイベント、八朔祭りなどの伝統的な祭りがあり、とても賑やかです。

しかし、二年ほど前から新型コロナウイルスが流行し始め、イベントの中止や延期が余儀なくされました。それに伴い、西海市を訪れる観光客も減っていき、飲食店や観光業は大打撃を受けました。一時は緊急事態宣言が出され、学校も休校になり、飲食店も一部が休業するなど、人々の交流が減り、町の活気がどんどんなくなっていました。

このような状況のなか、西海市のYouTubeチャンネルで西海市の魅力を発信する動画がアップされ、ある動画は三週

間で三万四千回視聴され、別の動画は一月で四万回近く視聴されています。ただ、ほかの動画はまだまだのようです。それで、提案ですが、西海市民が西海市のYouTubeチャンネルを登録し、それを県外の知り合いや友人に発信するような取組を行ってはどうでしょうか。

私は、イベントや祭りが好きで、地域の伝統行事に踊り子として参加してきましたが、この二年間連続で中止になり、とても寂しかったです。私みたいに寂しい思いをしている人はたくさんいると思います。しかし、逆に考えるとそれだけ西海市が愛されているということになるのではないかと思います。祭りなどが無くなっても町を愛する気持ちを変わず持ち続けられるのは、西海市の自慢の一つだと思います。

コロナは大切なことを教えてくれたと思います。それは私達には「地元愛がある」ということです。催し物が中止になり、交流が減っても私達の「地元愛」は強くなっているように思います。

「地元愛の強い町」ということを売りにして、もっとアピールしていけば、西海市を活性化

できるのではと思います。私は将来、西海市への恩返しができるように、今できることを頑張っていきたいです。





令和4年2月 No.64

議会で議論となった案件が可決された後、どのように市政で活かされているのか点検も必要と思う。

(大島町 70代男性)

表紙が明るく、読みたくなります。西海市のことがわかるような気がします。自然豊かで災害が少なく、美味しいものが多い西海市は素敵過ぎます。

(西彼町 50代女性)

幸物地区の災害復旧を早急にお願いしたいと思っています。先日知り合いの方が幸物におり、通夜に行けず、家まで行こうとして、初めて、通行止めになっていることがわかり、びっくりしました。大変不便されている様子だったので。

(西彼町 50代女性)

読みやすく、内容がよくわかり、良いだよりだと思います。問題の場所の写真が掲載されていて理解しやすい。

(大島町 60代女性)

西彼杵高校の存続と活性化への期待大です！よろしくお願いします。カーボンニュートラル政策にも大いに力を尽くしてください。

(大瀬戸町 60代女性)

今回の議会だよりでは、2ページからの特集で議会のしくみについて詳しく知ることが出来てとても勉強になりました。

(西彼町 30代女性)

市民の声の藤本さん。地元の力になりたいとの考えに感動しました。夢に向かって頑張ってほしいと思います。私にも子どもが2人いますが、県外で働いています。これからの子どもたちが地元に残って働けるような、魅力ある職場が増えたらいいと思います。

(西海町 60代女性)

議会の進捗がよく分かりました。電子図書館のサービスが始まることを今号で知り、早速利用したいと思いました。

(西海町 30代男性)

人口減少対策とありますが、大きな商業施設なども作ってほしいです。高速通信網の整備とありますが、西海町などはauやソフトバンクなど電波が入りません。どうかしてほしいです。

(西彼町 30代女性)

自分たちの住んでいる西海市についてどういう質疑応答をしているのか、毎回楽しみに拝見しております。市議会議員の方々、そして市長のご意見と方法の意見をみながら色々と考えさせられます。

(大島町 30代男性)

いつも楽しく読まさせていただきます。西海市の発展を切に願います。

(大島町 80代女性)

毎回興味深く拝見しております。議員の皆さんには、今後ますます西海市が豊かで安心して暮らしていける社会を市長と共に目指して下さい。

(大島町 60代男性)

全面通行止めの箇所がある事を初めて知りました。

(西海町 40代女性)



議会広報広聴委員会編集風景



郵便はがき

郵送される
場合は63円
切手を貼って
下さい。

857-2392

長崎県西海市大瀬戸町瀬戸檜浦郷2222番地

西海市役所 議会事務局
「議会広報広聴委員会」行

(議会だより第65号)



議会だより発行
までに委員会を
4回開催しています。

わかりやすい
紙面を心掛けて
います。



裏表紙に
西海市議会クイズが
あるよ！議会だよりを
よく読んで解答してね！



第21回西海市議会クイズ

(1) 市政一般質問を行った議員は何人？

① 10人

② 12人

③ 11人

(2) 産業建設常任委員会に付託された議案件数は？

① 15件

② 4件

③ 7件

(3) 令和4年第1回市議会定例会の会期は何日？

① 23日

② 22日

③ 19日

(4) 令和3年度西海市一般会計補正予算(第1号)の議案番号は？

① 議案第13号

② 議案第21号

③ 議案第15号

応募方法

はがき、FAX、メール、入力フォームにて、住所・氏名・年齢・クイズの答えを明記してご応募ください。

※はがきは、お近くの総合支所又は市役所本庁議会事務局へ提出いただけます。

応募先

〒857-2392

長崎県西海市大瀬戸町瀬戸

戸瀬浦郷2222番地

〈FAX〉

0959-3710226まで

〈メール〉

rikai@city.sakai.jp

〈入力フォーム〉スマートフォンなどでQRコードを読み取ると入力フォームが開き、応募ができます。



締切

令和4年6月10日(金)消印有効(10日支所提出分まで有効)

特典

全問正解者の中から抽選で3名の方に、**QUOカード(1000円分)**をプレゼントいたします。なお、当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。

※落選通知は送付しませんので、ご了承ください。

〔個人情報取り扱いについて〕

ご記入いただきました個人情報、商品発送などの目的以外には利用いたしません。

第20回西海市議会クイズ解答

(1)③ (3)①
(2)② (4)③

応募総数19名(正解者15名)

編集後記

「普通」ってなんだ
「彼氏はイケメン?」「フツー」「ご飯は大盛?」「いや普通」「このカレーの味どう?」「普通においしい」と何気なく、便利に使っている。普通預金、普通車、普通高校等、普通のつく言葉はたくさんある。しかし「これ」といった確固たる意味もない。使う人の感覚で意味はどんどん変化する。
「結婚式の祝儀は、普通〇万円だろ」「風呂には、毎日入るのが普通だろ」「普通食事は一日三食だろ」と言ったりする。
こういう使い方をするときには、必ず主語に「自分は」を入れて、話をしようと思う。相手には相手が思う普通があると思うので。
この言葉は使い方によつては、強要となり、人間関係を悪くしそうな気がする。普通という概念がある限り、いじめも減らないのではと、ふと思ったりする。
今月号の議会だよりが、普通の出来栄か、読者の皆様に判断してもらいたいと思います。
(目黒 彦委員)



議会広報広聴委員会

第21回西海市議会クイズ回答

(1)	(2)	(3)	(4)
-----	-----	-----	-----

郵便番号 〒

住所 市 町 郷 番地

ふりがな
氏名

年齢 歳

議会だよりについての感想またはご意見

今後いただいた感想、ご意見は匿名で掲載させていただく場合があります。



議会だより

No.65

令和4年
5月6日発行

発行責任者◎西海市議会議長
編集◎議会広報広聴委員会

〒857-2392 長崎県西海市大瀬戸町瀬戸浦郷2222
TEL.0959-37-0075



この「西海市議会だより」は環境に配慮し再生紙と、揮発性有機化学物(VOC)の発生を低減できる植物油インキを使用しています。